

自転車^の快適性向上

平成17年度の施策の方向性

■課題

- ・自転車環境整備の不足
- ・駅周辺の放置自転車対策

■施策の方向性

- ・河川などの自然環境を活かした安全で快適な自転車による移動支援(サイクルロードなどによる自転車ネットワークの形成)
- ・主要施設の周辺での自転車駐車場などの整備
- ・自転車を利用しやすい空間づくり
- ・楽しく自転車が利用できるようにサイクリングマップなどの情報を提供するなど利用促進

「新八王子市総合都市交通体系整備計画」より

■ 自転車環境整備

- ・通勤・通学・買物などで中心市街地・鉄道駅周辺や地域間の往来で主に利用されるルートの整備
- ・浅川サイクルロードなどの整備促進
- ・高尾山周辺での観光ルートの整備推進
- ・サイクルステーション(情報案内施設)の整備
- ・モデル地区による自転車専用レーンの実証実験の実施

■ 主要施設周辺での自転車駐車場等の整備

- ・中心市街地や鉄道駅での自転車駐車場などの整備
- ・秋川街道や陣馬街道沿道でのサイクルアンドバスライド用自転車駐車場の整備推進

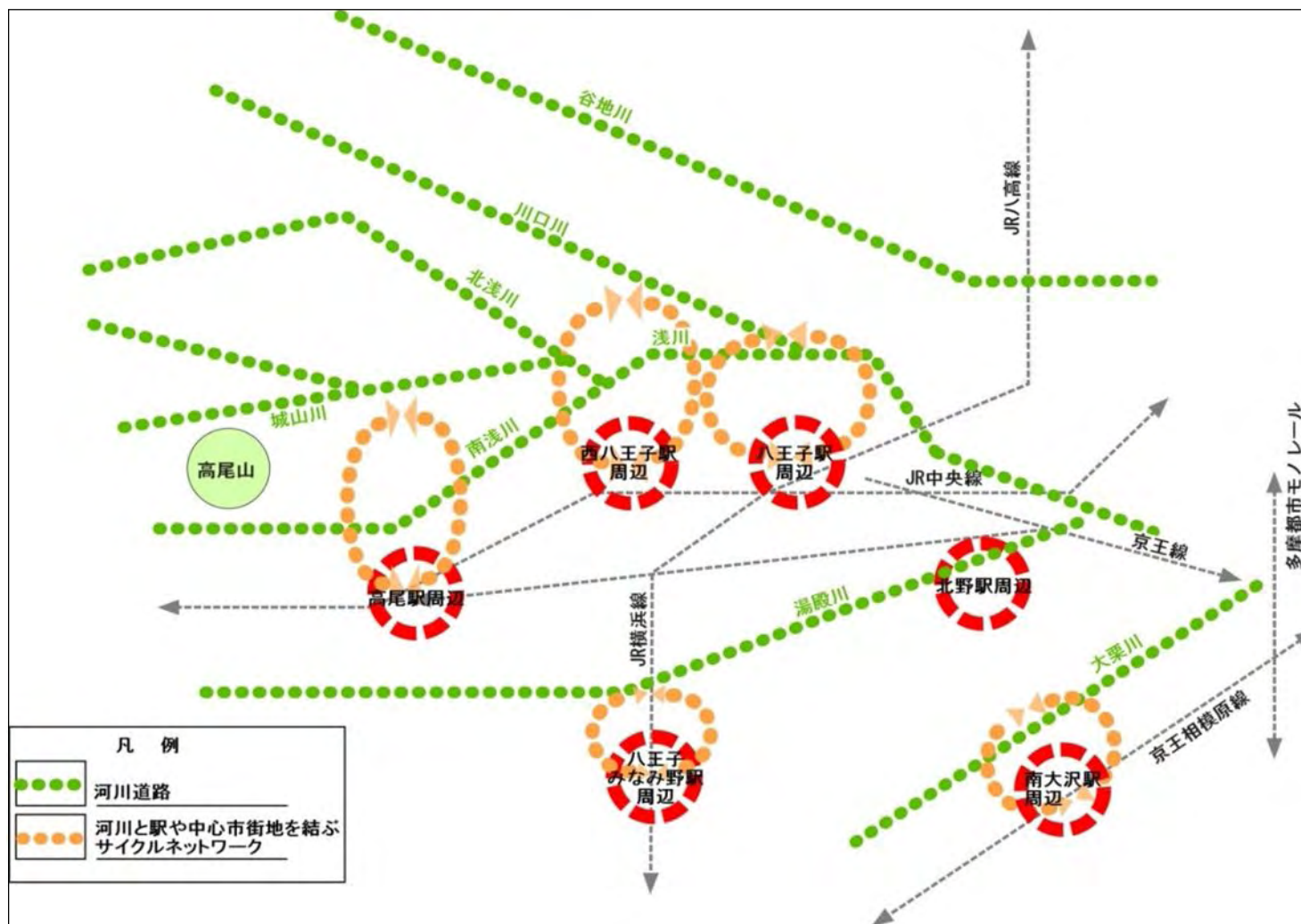
■ 自転車利用促進のためのソフト施策の実施

- ・サイクリングマップの作成
- ・自転車マナー講習会の開催
- ・自転車イベントの開催
- ・レンタサイクルシステムの導入

・「八王子市都市計画マスタープラン」、 「新八王子市総合都市交通体系整備計画」より

施策方針図

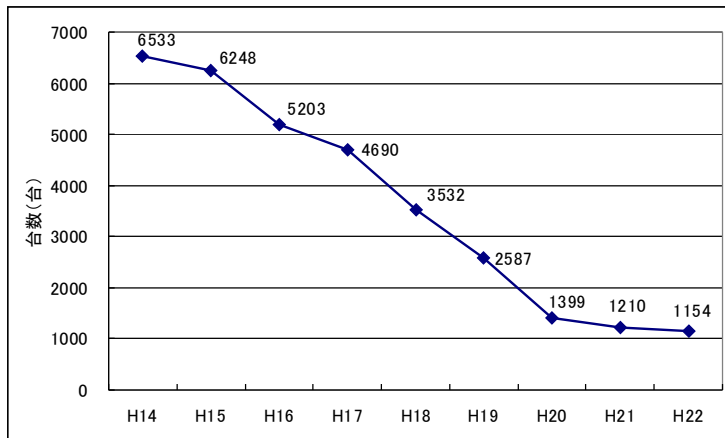
・自転車ネットワークイメージ



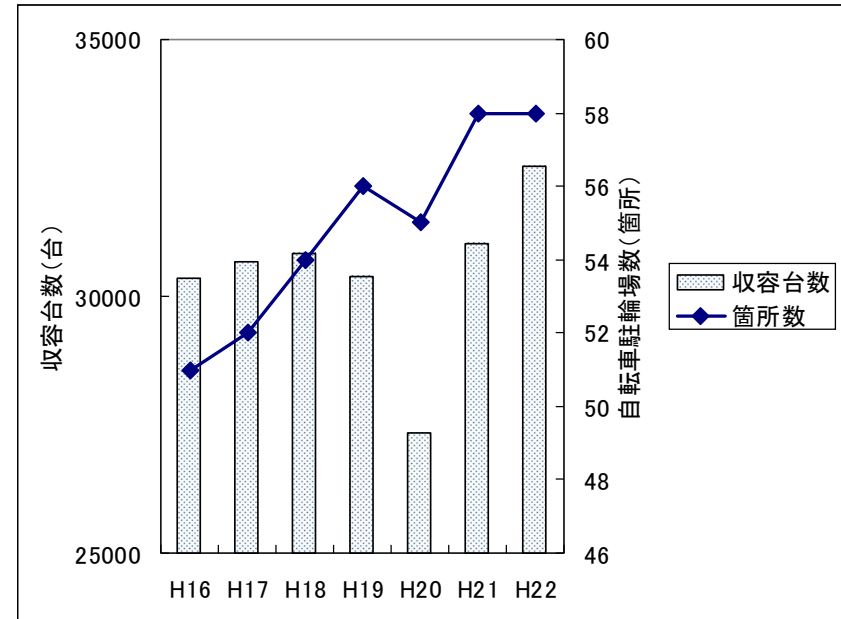
主な成果

放置自転車の減少

- 自転車等放置禁止区域
- 自転車駐車場の整備
- 附置義務条例(商店等との連携)



※但し、撤去費用約4,500万円/年市税から捻出



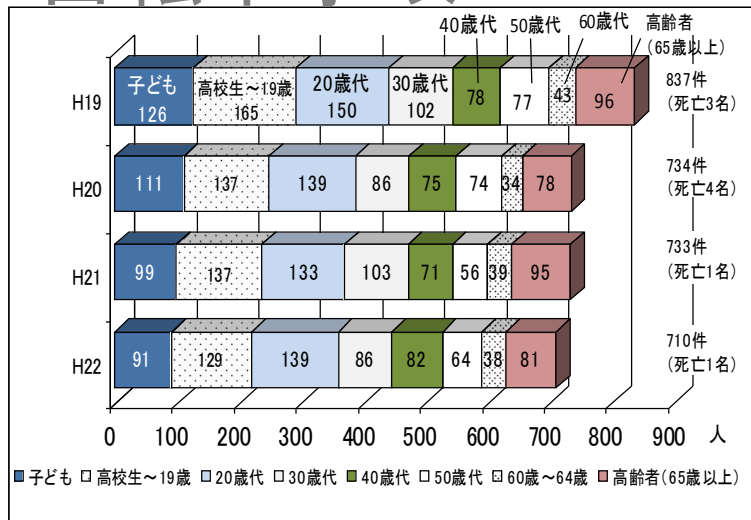
・自転車走行空間



南大沢自転車空間(実証実験)

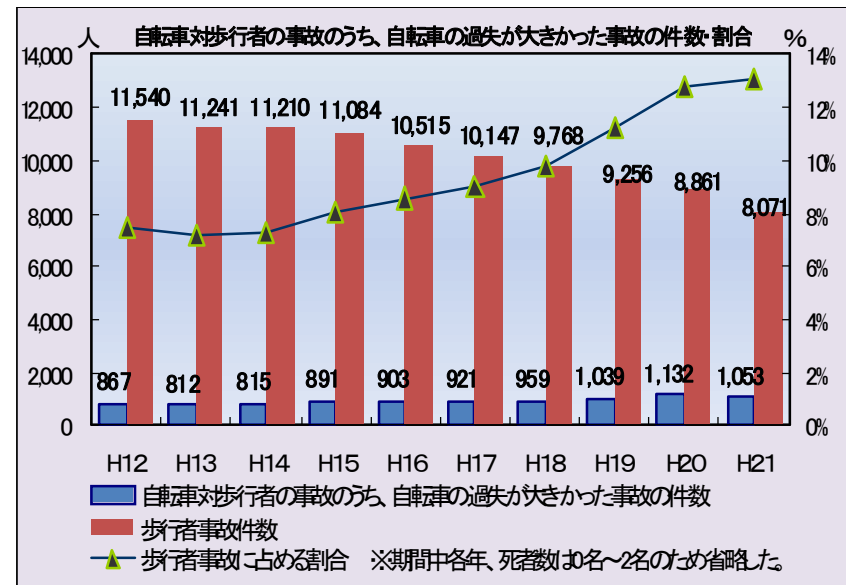


・自転車事故



→事故は減少傾向

歩行者が遭った事故の内訳

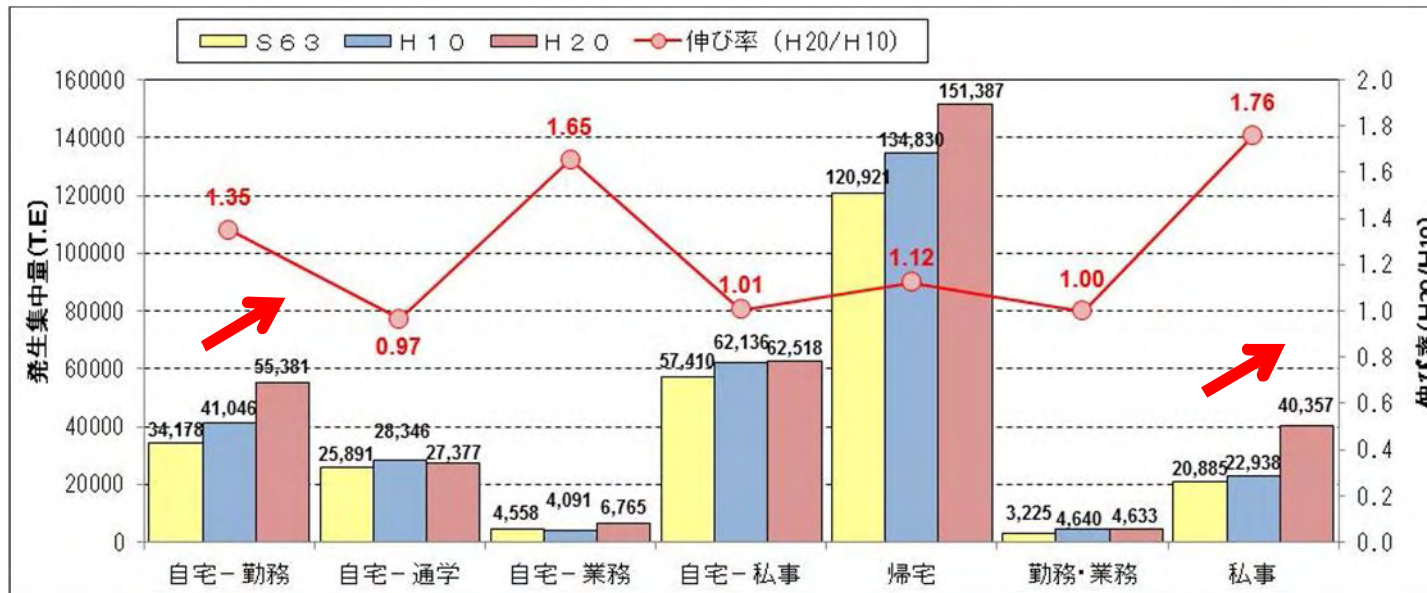


出典：警視庁統計のデータ

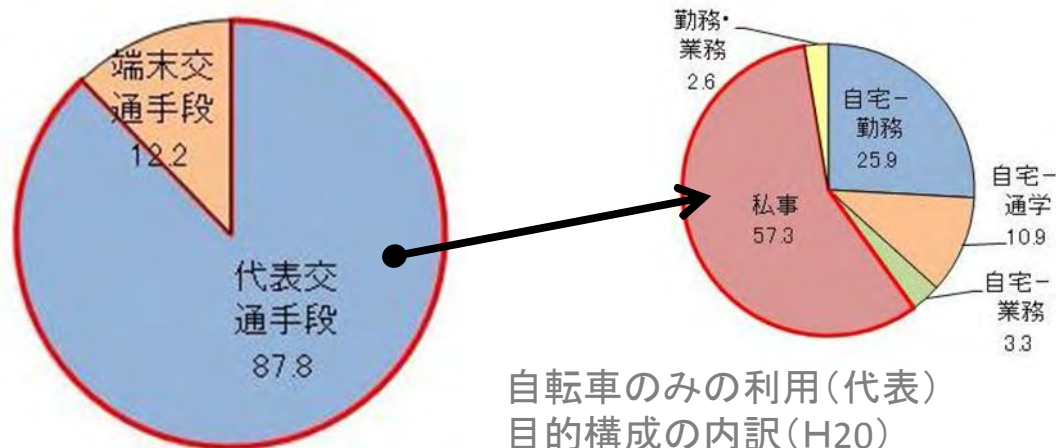
→主な過失が自転車側にあった事故の割合が年々増加

どのように変わったか？

自転車発生集中量の変化(東京都市圏PT調査)

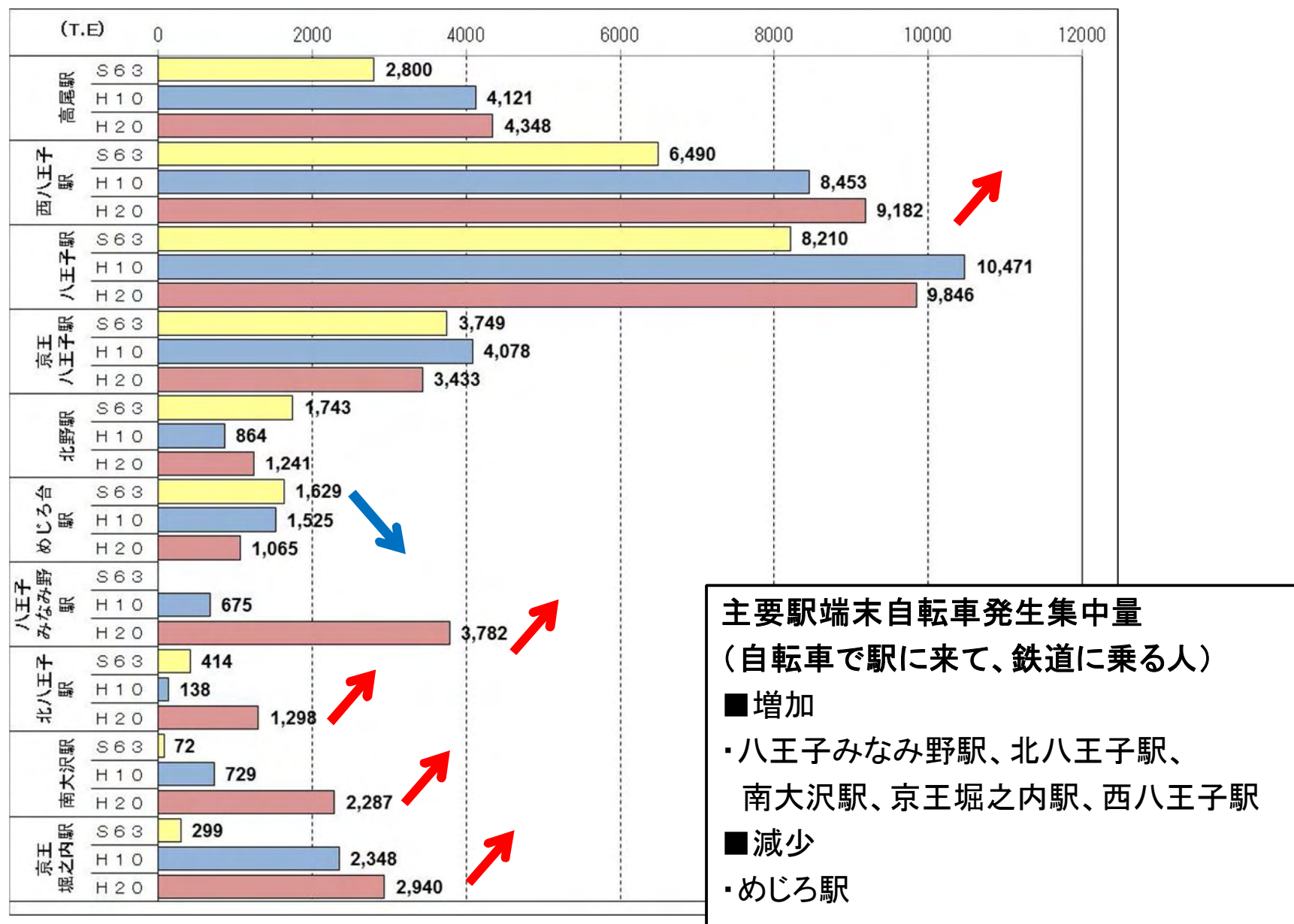


代表・端末構成比(H20)



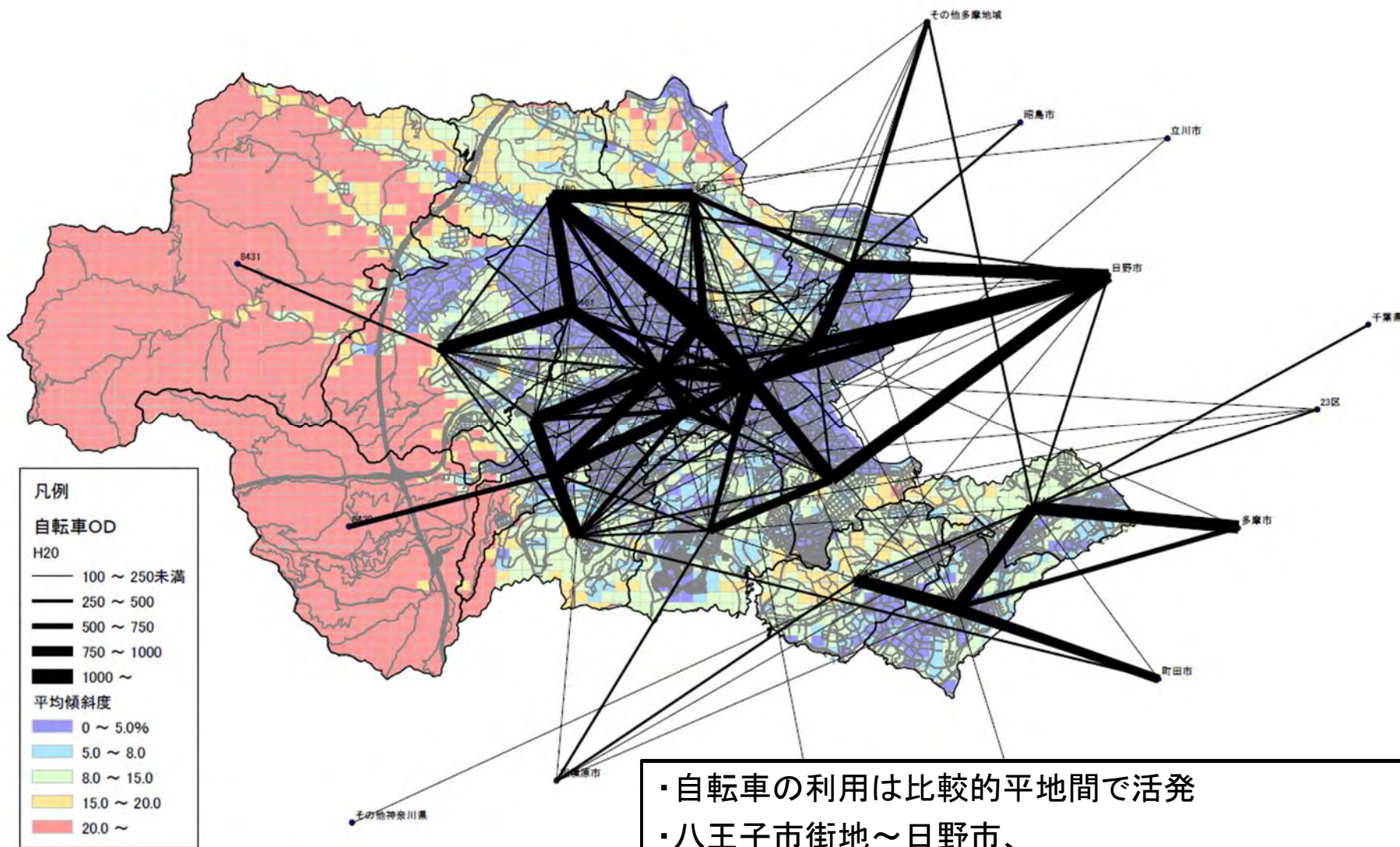
- ・全体的に自転車利用は増加(特に私事)
- ・自転車のみ(代表)9割で、乗り換え(端末)少ない
- ・利用内容は、私事が6割

主要駅端末自転車発生集中量の変化(東京都市圏PT調査)



※1,000TE以上

自転車OD調査(代表交通手段、東京都市圏PT調査・H20)



・自転車の利用は比較的平地間で活発
・八王子市街地～日野市、
南大沢～多摩市、町田市の隣接市間移動も多い